経済･金融フラッシュ

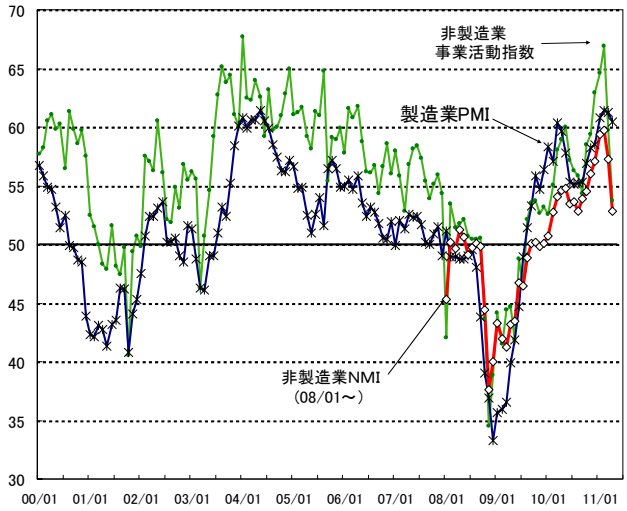
米4月ISM指数：非製造業指数が急落

経済調査部門　主任研究員　土肥原　晋
TEL:03-3512-1835　E-mail: doihara@nli-research.co.jp

１、非製造業・製造業指数ともに連月の下落も、非製造業の下落幅が顕著

企業のセンチメントを示すＩＳＭ（米供給管理協会）指数では、５／４発表の４月非製造業指数（ＮＭＩ）が 52.8 と前月比▲4.5 ポイント下落、前月（57.3）、市場予想（57.5）をともに下回った。前月比での下落は２ヵ月連続となる。４月水準は昨年８月以来８ヵ月ぶりの低水準となるが、非製造業の業況の分かれ目となる 50 は 17 ヵ月連続で上回った。回答者のコメントは燃料費や商品価格の上昇、景気の先行き不透明感等を懸念する見方を示唆していた。

（図表1）　ISM指数の推移（月別）



（資料）Institute for Supply Management、以下も同じ。

ＮＭＩは 2008 年１月より非製造業指数の総合指数として発表を開始、金融危機直後の 2008 年 11 月に 37.6 へと急低下後、回復の動きを見せ、本年２月には 59.7 と発表開始後の最高値（試算推計値では 2005 年８月（61.3）以来の高水準）となっていた。

一方、５／２発表の４月製造業指数（ＰＭＩ）は 60.4 と前月比▲0.8 ポイント低下、２ヵ月連続での下落となった。ただし、市場予想（59.5）は上回り、４ヵ月連続で 60 台の高水準を維持、２月（61.4）が 2004 年５月以来の高水準を記録したことを考慮すると、依然、堅調な水準を保っているといえよう。PMI は、金融危機後の 2008 年 12 月に 33.3 とリセッション後のボトムを記録した後、2009 年８月には製造業の拡大･縮小の分かれ目となる 50 を回復、今回で 50 越えは 21 ヵ月連続となる。また、４月の PMI を除く 10 指数の動きを見ると、５指数が上昇、５指数が下落となったが、PMI を構成する５指数（新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫）では、在庫を除く４指数が下落した。なお、最高値は価格指数の 85.5、最低値は顧客在庫の 40.5 だった。

発表元のＩＳＭでは、過去のデータから見た PMI が示す経済全体の分かれ目（GDP のゼロ成長）は 42.5 であり、４月の水準（60.4）は実質 GDP の年率 6.3%に対応する水準としている。

製造業（PMI）と非製造業（ＮＭＩ）の水準を比較すると、2009 年７月以降は PMI がＮＭＩを上回って推移しており、製造業のセンチメントが先行して回復していたことが窺われる。非製造

 Copyright ©2011 NLI Research Institute All rights reserved

業指数には住宅バブル崩壊や金融危機等の影響が大きい金融、不動産・建設、個人消費関連産業等が含まれる。一時は製造業に追いつくかに見えたが今回のＮＭＩの下落で乖離を大きく広げた。

（非製造業各指数別の動向）

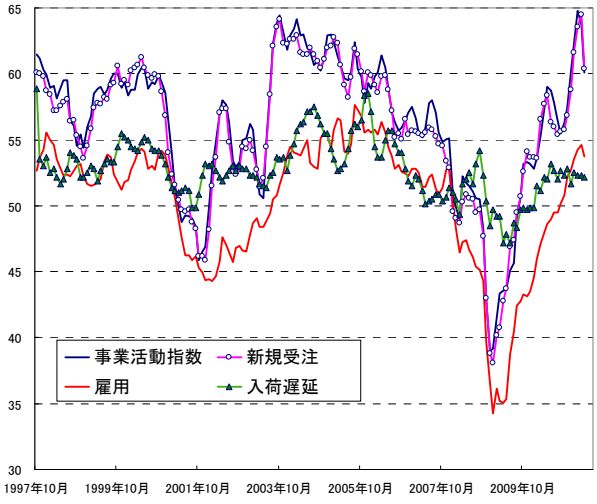
２、非製造業各指数では、新規受注が大幅下落

４月非製造業各指数の前月比の動きを、総合指数（ＮＭＩ）を均等ウェイトで構成する主要４指数（事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延）を中心に見ると、新規受注指数が▲11.4 ポイントと急落、事業活動指数も▲6.0 ポイントと大きく下落したのが目立つ。そのほか雇用指数が▲1.8 ポイント下落し、入荷遅延指数は 1.5.ポイント上昇した。

上記の中では新規受注指数が 52.7 へと大幅に下落したのが特徴的な動きとなっている。新規受注指数は１月に 64.9 となり、2004 年１月（65.4）以来７年ぶりの高水準へと上昇、その後３月も 64.1 と高水準を保っていたが、今回の急落で 2009 年 12 月（52.1）以来の低水準へと引き戻された。ただし、下げ幅が▲11.4 ポイントと 1997 年の統計開始以来の大幅となった点については、その間に起きた数々のショックを上回るほどの悪化要因は見当たらないとの指摘も多い。

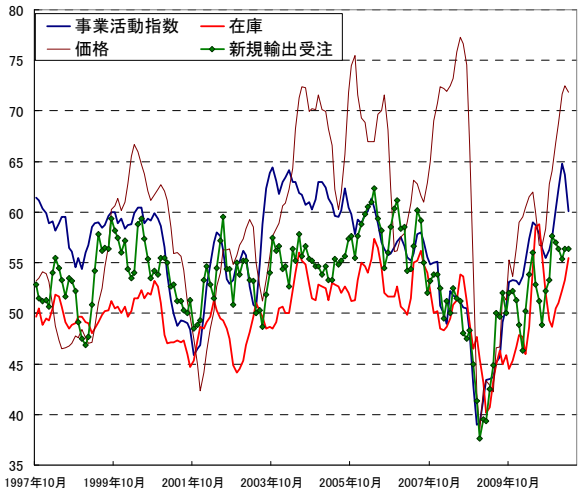
一方、事業活動指数は 53.7 と前月（59.7）から下落、活動の低下を回答したのは 18 業種のうち小売業のみだった。前記の新規受注でも、低下回答４業種の中に小売業が含まれており、小売業の回答が４月低下に寄与したことが窺われる。そのほか、雇用指数は 51.9、入荷遅延指数は 53.0 となり、MNI 構成指数はいずれも 50 台前半での狭いレンジに収まっているが、50 は上回って推移している。その他の指数では、価格指数が同▲2.0 ポイント下落して 70.1 となったが、非製造業の中では最高値を維持した。また、在庫指数が 55.5 と３ヵ月連続で同水準の推移となった一方、在庫センチメントは 57.5 と同▲9.5 ポイントの大幅下落を見せた。受注残指数は 55.5 と同▲0.5 ポイント下落、新規輸出受注指数は 53.5 と同▲5.5 ポイント下落した半面、輸入指数は 57.0 と同 7.0 ポイント上昇、全指数の中で最大の上げ幅を見せている。

（図表２）ＩＳＭ非製造業各指数の推移（その１）



注：3ヵ月移動平均

（図表３）ＩＳＭ非製造業各指数の推移（その２）



注：3ヵ月移動平均

（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。